

厚生労働省における木材利用推進状況

1 これまでの取組実績

【社会福祉施設（保育所）】

項 目	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度
施設数（棟）	1, 096	697	909
うち木造施設数 （木造率）	250 (23%)	164 (24%)	187 (21%)
延べ床面積（㎡）	687, 365	430, 839	618, 030
うち木質床面積 （木質化率）	366, 563 (53%)	207, 797 (48%)	304, 750 (49%)
木材使用量（㎥）	20, 769	12, 967	20, 730
うち国産材 （国産材率）	12, 913 (62%)	6, 100 (47%)	10, 846 (52%)

【社会福祉施設（高齢者施設・障害者施設等）】

項 目	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度
施設数（棟）	1, 718	2, 037	1, 587
うち木造施設数 （木造率）	783 (46%)	1, 090 (54%)	829 (52%)
延べ床面積（㎡）	1, 970, 550	1, 283, 127	1, 002, 880
うち木質床面積 （木質化率）	296, 450 (15%)	344, 675 (27%)	265, 258 (26%)
木材使用量（㎥）	100, 142	152, 833	46, 466
うち国産材 （国産材率）	59, 040 (59%)	74, 771 (49%)	25, 472 (55%)

【病院・診療所等施設（へき地診療所）】

項 目	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度
施設数（棟）	3	6	7
うち木造施設数 （木造率）	1 (33%)	3 (50%)	5 (71%)
延べ床面積（㎡）	6,066	2,990	824
うち木質床面積 （木質化率）	1,201 (20%)	38 (1.3%)	421 (51%)
木材使用量（㎥）	3.8	53	194
うち国産材 （国産材率）	3.5 (92%)	53 (100%)	138 (71%)

【国立病院等施設】

項 目	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度
施設数（棟）	23	40	22
うち木造施設数 （木造率）	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
延べ床面積（㎡）	15,259	24,984	8,875
うち木質床面積 （木質化率）	1,624 (11%)	7,730 (31%)	206 (2%)
木材使用量（㎥）	166	366	159
うち国産材 （国産材率）	22 (13%)	77 (21%)	13 (8%)

- (注) 1. 国の補助を受けて整備された社会福祉施設（保育所及び高齢者施設・障害者施設）及び医療施設等を調査対象とした。
2. 木造とその他の構造との混合の施設については、床面積比で5割以上が木構造の施設を木造施設とした。
3. 国産材利用について、国産材とその他産材が混合して使用されている場合は、資材ごとに5割以上国産材を利用しているものを国産材資材とした。
4. 国立病院等施設には、独立行政法人国立病院機構および各国立高度専門医療研究センター分を除いた、国立ハンセン病療養所分が含まれる。

2 木材利用推進に向けた具体的な取組や方策

(1) これまでの取り組み

ア 調査報告書等の作成配布及び活用の要請

- ・「社会福祉施設等での木材利用事例集」を都道府県、市に配布。(平成9年度)
- ・「高齢者・障害者の心身機能の向上と木材利用報告書」を都道府県、市に配布。(平成10年度)
- ・「保育所木材利用状況調査研究事業報告書(木のぬくもりを保育所に)」を都道府県、市に配布。(平成11年度)
- ・「高齢者施設における木質系材料の効果及び普及に関する調査研究報告書(木は心 高齢者施設における木質系材料の使い方)」を作成。社団法人「日本医療福祉建築協会」において、協会会員等に配布。(平成14年度)
- ・「保育所木材大型遊具等利用状況調査研究事業報告書(木のぬくもりを保育所に<大型遊具編>)」を都道府県、市に配布。(平成15年度)
- ・パンフレット「心と体にやさしい医療環境の創出ー木材を利用した医療施設の整備ー」を都道府県、市、関係団体に配布。(平成15年度)
- ・「個別ケアのための高齢者施設建設ハンドブック木のぬくもりを生かす」を作成。(平成16年度)

イ 全国会議等における指導

- ・林野庁長官通知を踏まえ、都道府県・市に対して社会福祉施設等における木材利用の推進について関係局長通知を発出して要請。(平成9年度)
- ・毎年度開催する全国担当部長(課長)会議において、社会福祉施設や病院・診療所等における木材利用の促進を要請。
- ・毎年度、木材利用の積極的活用を図るものを優先的に補助採択する旨、社会福祉施設の整備方針として表明。

ウ 補助基準等

- ・社会福祉施設及び医療施設等において、木造建築に対する補助基準単価を設定している事業については、昭和62年度から鉄筋単価と同額とするために大幅引上げを行った経緯がある。
- ・社会福祉施設等の施設整備費補助に際しては、従来、「木造」単価の区分はなく、「鉄筋」と「ブロック」の区分のみであったものを、平成15年度からは「木造」を含めたものとしている。
- ・老朽化が著しい民間社会福祉施設については、災害事故の発生防止を促進する観点から、その改築に際し独立行政法人福祉医療機構の無利子融資を行っているが、平成元年から木造改築も無利子融資の対象としている。

エ 規制改革等

- ・平屋建ての社会福祉施設等については、スプリンクラーの設置等の要件を満たす場合に耐火・準耐火構造としなくて良い旨の構造改革特区制度を導入し(平成15年7月、いわゆる秋田スギ特区)、平

成 1 8 年 4 月 から 全国 展開。

- ・ 2 階 に 居室 等 が ある 特別 養護 老人 ホーム 等 に つい て も、 避難 経路 の 確保 等 の 要件 を 満た す 場合 は、 準 耐火 構造 で 良い 旨 の 構造 改革 特区 制度 を 導入（平成 1 8 年 1 月、いわゆる 愛媛 特区）、平成 2 4 年 3 月 から 全国 展開。

（２）施設整備予算の状況

区 分	平成23年度 補正後予算額	平成24年度 補正後予算額	平成25年度 予算額
社会福祉施設等施設整備費補助金	138億円	210億円	52億円
社会福祉施設等耐震化等臨時特例交付金	（注 1）	（注 1）	（注 1）
次世代育成支援対策施設整備交付金	30億円	42億円	23億円
安心こども基金	（注 2）	（注 2）	（注 2）
地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金	50億円	44億円	40億円
介護基盤緊急整備等臨時特例基金	（注 3）	（注 3）	（注 3）
医療施設等施設整備費補助金	5億円	4億円	4億円
医療提供体制施設整備交付金	82億円	39億円	40億円

（注 1）平成21年度～25年度の基金総額1,186億円

（注 2）平成20年度～25年度の基金総額6,510億円の内数

（注 3）介護保険事業計画に基づき基盤整備所要額を計上（平成21年度～25年度の基金総額3,771億円の内数）

（３）平成25年度以降に向けた取組み

ア 社会福祉施設における木材利用の推進

木材利用の積極的活用を図るものを優先的に補助採択する旨、社会福祉施設の整備方針として表明するとともに、全国担当部長（課長）会議において、社会福祉施設における木材利用の促進を要請していく。

イ 医療施設における木材利用の推進

患者の療養環境の向上等の観点から、パンフレットの利活用及び各種会議等における周知を通じて、医療機関における木材利用の推進を図る。

3 木材利用整備事例

(1) 保育所の例

○ ならの木保育園（岡山県岡山市）



（２）医療施設の例

○ 国立療養所宮古南静園（沖縄県宮古島市）

